

第 587 回：論文やレポートの書き方について（3）（DM）

みなさんこんにちは。LA 毎週月曜 12:00~15:00 担当、博士課程 2 年の DM です。

今回は、テーマと問題についてお伝えしたいと思います。

少し前の LA 通信（第 583 回）でお伝えしました通り、論文とは、何らかの問いに答えを与えるために書くものです。ある事柄についてデータをどれだけ手際よくまとめ上げたとしても、問いがなければ、その文章を論文と呼ぶことはできません。最近では、レポート課題であっても、これと同様のことが多いです。

つまり、問題設定は、何を書こうか考えている構想の段階から、実際の調査の段階へと移行するために行うべき、最初の作業なのです。論文作成はここから始まるのです。

「テーマ」と「問題（問い）」について簡単に説明しましょう。「テーマ」とは、調査される対象のことで、「問題（問い）」とは、その調査から検証されるべき主張のことです。『レポートの組み立て方』（1994）において木下が「自分の書くレポートのなかである話題についてあることを結論しよう、主張しよう、つたえようとするとき、それをレポートの主題(thesis)という」（木下 1994: 054）と述べています。この連載では、ここで言う「話題」を「テーマ」、「主題」を「問題（問い）」と呼んでいます。

たとえば、「ダイヤモンドについて」と言う時の「ダイヤモンド」がテーマです。これに対して、たとえば「ダイヤモンドは鉱物であるか」というのが問いです。この問いは、「ダイヤモンドは鉱物である（ではない）」という命題の形にすれば、仮説と呼ばれます。ここで注意しなくてはいけないのが、問いの形式です。なるべく具体的で、なるべく限定的な形にするように心掛ける必要があります。

たとえば、問いの形を「ダイヤモンドとは何か」にしたとします。構想の段階ではこれでいいかもしれま

せん。ですが、このままだと、求める答えが曖昧なままです。意地悪なことを言えば、この問いの答えは、「炭素」でも、「商品」でも、「曲の題名」でさえもいいわけです。これだと、論文としても、レポートとしても、散漫なものしか書けません。

これに対して、問いの形を「ダイヤモンドは鉱物であるか」にしたとしましょう。これなら、答えは「はい」か「いいえ」のどちらかに限定できます。論証に必要なデータも、鉱物として捉えた場合のダイヤモンドのデータに限定することができます。問いも答えも明確なので、論文としても、レポートとしても、まとものある文章を書くことができます。

テーマや問題を具体的で限定的にすることの重要性は広く認められています。ウンベルト・エーコも、テーマ選びは「範囲を狭めるほど、仕事は良くなり、基盤がしっかりする」（エコ 1991: 17）と言っていますし、『論文の教室』（2022）の戸田山も、「卒論の出来は問題を絞ることができたかで九九%決まる」（戸田山 2022: 78）と言っています。

とはいえ、鋭い問いを短期間にいくつも提出することなんて、熟練の学者でもなければ困難なことぐらい、誰にでも分かりそうなものです。ですから、そこはご安心ください。学部生のレポート課題や卒業論文に第一に求められているのは、テーマ決めと問題設定を適切に行う技術の方であるからです。

たとえば、「ダイヤモンドは鉱物である」ということは誰でも知っています。そもそも、自分がダイヤモンドに関心があるとも限りません。それでも、ダイヤモンドをテーマにした論理的な文章を書くことができる、——これが大事なのです。

つまり、選んだテーマが自分の関心とさほど合致していなくてもいいのです。ウンベルト・エーコも言うように、「論文を作成することは、独特のアイデアを整頓し、資料をきちんと整理する技術に習熟すること」

第 587 回：論文やレポートの書き方について（3）（DM）

であり、「論文のテーマは、これに要する作業経験ほどに重要ではない」のです（エコ 1991:9）。問題設定もこれと同様です。

流石に「ダイヤモンドは鉱物である」という結論は当たり前すぎるので、例として不適切だったかもしれませんね。多少は新奇性があるのが望ましいです。とはいえ、「技術に習熟すること」が第一で、新奇性はその先の話、という順序が重要なので、そこをご理解いただきたかったのでございます。

では、そのようにして問題を設定するために、具体的には何をしたらいいのでしょうか。

ということで、今回の LA 通信はここまでです。今回は、実際にテーマを選んで問題を設定していくプロセスについて、実践を交えながらお伝えしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

参考文献

エコ, ウンベルト (1991) 『論文作法』(谷口勇訳) 而立書房

木下, 是雄 (1994) 『論文の組み立て方』(ちくま学芸文庫) 筑摩書房

戸田山, 和久 (2022) 『論文の教室: レポートから卒論まで』(NHK ブックス ; 1272) NHK 出版